



東方小学校4年の園田紗弥花さんは、「マッコウクジラが凄く大きいことは知っていたけど、本物の骨は思っていたより軽くて驚いた」と話しました

県総合博物館の展示物を出張で展示「どこでも博物館」が東方小で開催

10月6日、県総合博物館主催で同館の収蔵物を学校に展示する「どこでも博物館」が東方小学校体育館で行われました。同小と須木小、小林こすもす支援学校の児童らが展示物を見学。催しは、同館から遠く、訪れることが困難な地域を対象に博物館が外向いて展示紹介を行っているもので、会場には約100点の収蔵物が展示されました。

小学生球児たちが市内で熱戦

10月1日・2日、須木運動広場と永久津地区運動広場で第2回須木チャレンジカップ学童軟式野球大会が開催されました。小林市・えびの市内のスポーツ少年団に登録する8チームが参加した同大会。結果は、須木クラブ野球スポーツ少年団が優勝しました。



須木の秋の味覚をPR イオン各店で須木栗フェアを開催

9月29日から10月2日にかけて、イオン宮崎店で、すき物産協会主催の須木栗フェアが開催されました。フェアでは、須木地区で生産・製造された、季節の栗や特産の柚子を使用したお菓子・加工品を販売。物産販売はイオン都城駅前店・同都城店でも開催され、来場者は目当ての商品を買いたい求め、各ブースは賑わいを見せていました。



会場では須木地区で今秋収穫された須木栗の販売も行われました。また、小林地区・野尻地区の業者による出店もありました

出の山 NAORAI (なおりい) 開催

10月1～2日にかけて出の山公園で「出の山 NAORAI2022」が開催されました。催しは小林まちづくり株式会社主催で実施。音楽ステージイベントや、屋台の出店、また、出の山飲食業組合加盟店による「名水定食半額感謝企画」などで盛り上がりました。



小林の未来を担う子どもたちへ 坂口建設(株)と(株)三共がランドセル寄贈

9月21日、坂口建設株式会社(松岡重孝代表取締役)と株式会社三共(外村公明代表取締役)が市にランドセル4つを寄贈しました。寄贈式で坂口建設株式会社の松岡代表は、「今年も子どもたちのためにランドセルを寄贈できてうれしい。これからも市と連携しながらよりよい小林市のためにがんばっていききたい」と話していました。



寄贈は平成28年からいただいております今年で7回目。ランドセルは、さまざまな理由で生活が厳しいと感じている家庭の新小学生へプレゼントされます

運動会に大野勇太さんとこすも〜登場

9月21日、小林小学校で学年別体育学習発表会が開催されました。1年生のダンス発表「こすも〜ちゃんの歌」では、こばやしPR大使で歌の作曲者である大野勇太さんとこすも〜がサプライズ登場。1年生の元気あふれる発表を盛り上げました。



左から2番目 川嶋さん、3番目 木場さん、4番目 監督の吉田茂昭さん。7月に行われた宮崎県予選会で活躍し、全国大会出場に貢献しました

バレー部のない生徒達の受け皿 飯野排球部が全国大会出場を報告

9月20日、バレーボール部がなく、中学でもプレーしたい西諸地域の生徒を集め活動する「飯野排球部」の木場勇心さん(細野中3年)と川嶋遥希さん(紙屋中3年)が全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会への出場を市長に報告しました。川嶋さんは「笑顔で胸を張れるプレーをしたい」と話しました。

彼岸花が綺麗に咲きますように

9月11日、輝けフロンティアのじり(竹原信一会長)が、道の駅ゆ〜ぱるのじりに600株の彼岸花の球根を植えました。彼岸花は旧野尻町の町花。観光客誘致を目的に、これまで約1万6千株を植栽しました。今年植えた球根は来年の秋に花を咲かせます。



細野一区、東方校区まちづくり協議会が宝くじ「コミュニティ助成事業」で備品を整備

(一財)自治総合センター宝くじ社会貢献広報事業「コミュニティ助成事業」の助成を受け、細野一区が地域の防災力向上のため、消防ポンプや災害救助資器材を整備しました。また、東方校区まちづくり協議会は、かき氷機や綿菓子機など地域のイベントで使用するコミュニティ活動備品を整備。同助成金は宝くじの受託事業収入を財源として、全国で社会のために役立てられています。



写真⑤ 細野一区が整備した消防ポンプや災害救助資器材(地域防災組織育成助成事業)、写真⑥ 東方校区まちづくり協議会が整備したかき氷機や綿菓子機などのコミュニティ活動備品(一般コミュニティ助成事業)

交通事故のない地域を目指し、交通安全運動キャンペーン展開

9月21日～30日の全国交通安全運動期間にあわせて、市内各地でキャンペーンが行われました。9月21日には、小林地区交通安全協会小林支部(内一幸支部長)の会員など約30人が、国道221号線沿いで反射ベルトなどと一緒にドライバーにチラシを配布しました(写真⑦)。

また、9月22日には、野尻庁舎でも野尻町区域交通安全対策協議会(大角哲浩会長)がキャンペーンを実施(写真⑧)。来庁者に安全運転などを呼びかけました。野尻駐在所の小玉剛之巡査部長は、「急いでいるときこそ、安全確認をしっかり行ってほしい」と話していました。



豪華寝台列車「ななつ星 in 九州」を南小児童・コバ高生らが歓迎

10月20日、豪華寝台列車クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」がJR吉都線で初めて運行され、小林駅横の中央ふれあい広場で列車を出迎える歓迎セレモニーが開催されました。広場には、南小学校全児童や小林高校生、近隣住民など約600人が集まり、旗を振ったり風船を飛ばしたりしながら、「ななつ星 in 九州」を出迎えました。



12月1日・8日を除く10月20日～12月22日までの毎週木曜に走行する予定です。駅や沿線で見かけた際は、ぜひ手を振ってお見送りください

シルバー人材センターが奉仕活動実施

10月15日、小林市シルバー人材センター（小久保信雄理事長）が10月の事業普及啓発月間にあわせた活動として、地域への奉仕活動を行いました。会員240人が21班に分かれて活動に参加。小中学校の通学路のゴミ拾いなどの美化作業に取り組みました。



伝統芸能「鉦踊り」を小学生が継承

10月4日、栗須小学校で地元保存会の指導者による伝統芸能「鉦踊り」の指導が行われました。地域の伝統芸能を守ろうと、代々児童が踊り継いでいるもので、10月16日の同校の運動会では、5年生と6年生の児童約60人が練習の成果を披露しました。



加藤さんは、曾祖母が辛い戦争を経験しながらも前を向き希望をもって生きていたことに触れ、「苦しみや痛みに寄り添える人になりたい」と話しました

遺族や関係者ら約200人が参列 戦没者追悼式を忠霊塔で開催

10月7日、戦没者追悼式（小林地区）が緑ヶ丘公園忠霊塔前広場で開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、座席数を減らすなど規模を縮小して開催。式典では、細野小学校の押川悠輝さん（写真①）と細野中学校の加藤遥さん（写真②）による「平和への想い」をテーマにした作文の朗読も行われました。

市民有志が子育て支援を目的に寄付

10月4日、市の子育て施策の推進に役立てて欲しいと市民有志から寄付がありました。代表者の前田弘志さんと河島茂樹さんは「これまで市に多大なるお世話になってきたので何かお返しがしたいと思い、寄付を計画しました」と話しました。



研修大会で自治会活動の意義を再確認

10月5～6日、宮崎県自治会（区会）連合会研修大会が開かれました。大会には県内の自治会関係者約200人が参加。5日は文化会館で講話や事例発表が行われ、6日は市内観光地などを視察するなど、参加者は自治会活動の意義などについて再確認しました。

